

# デザインデータチェックについて

データに問題無く印刷工程に進むため、経験豊富な弊社デザイナーがサポートさせていただきます。

|    |        |     |          |                       |                        |                     |
|----|--------|-----|----------|-----------------------|------------------------|---------------------|
| 盤面 | ¥ 1000 | 印刷物 | 4Pブックレット | 8Pブックレット<br>16Pブックレット | 20Pブックレット<br>24Pブックレット | 記載以上の仕様は<br>ご相談下さい。 |
|    |        |     | ¥ 2000   | ¥ 3000                | ¥ 4000                 |                     |

デザインデータは「Adobe Illustrator」で制作してください。また使用する画像は「Adobe Photoshop(EPS形式)」で制作してください。

弊社でのデザインデータチェックは、あくまでデータが印刷可能であるかをチェックする目的となっておりますので、文字校正やレイアウトに関する内容は対象外となります。データチェックをご希望されない場合、弊社ではご入稿いただきましたデータの内容には関与せずに製造進行となります。その際に発生した印刷不可による納期の遅れや、製品の不良については、一切の責任を負いかねますことをご承知ください。問題点が発見された場合、原則的にお客様に修正頂き再入稿となります。その際には、当初の納期から遅れが生じますことをご承知ください。弊社で修正される場合は別途作業時間、作業費用(¥1000~)が発生致します。

データチェック行程では、ご入稿頂いたデータの下記項目をチェックさせて頂いております。

## 基本事項

- ご入稿データが問題無く開くことができるか。
- フォントがアウトライン化されているか。
- 使用画像の解像度の確認(キレイに画像が仕上がるか)。
- ご入稿データのCMYK着色パーセンテージを足した数値が300%を越えていないか(濃度オーバー)。
- ご注文頂いている仕様とご入稿データの仕様に相違ないか。
- ご入稿データのカラーモードがCMYKカラーで作成されているか。
- 弊社テンプレートがご使用されているか、またご注文の仕様のサイズと作成サイズに相違がないか。
- 印刷可能な線の太さで作成されているか(線幅を0.3pt以上)。

## 盤面

- CD、DVDのレーベル面には規格に基づいたロゴ(discマーク等)の表記がされているか。
- 印刷方式のご確認(シルク印刷、オフセット印刷)。
- シルク印刷の場合、使用特色の色番号指定があるか。
- 銀抜き加工の有無、その際スパッタ(質感の違う銀)が見える箇所はあるか。

## 印刷物

- 塗り足しは作成されているか。
- 組立て時にキャップとブックレット、バックインレイの絵柄が重なるデザインか、絵柄の重なりでズレがないか。
- ホチキス留めブックレットの場合、「ページ割り」が正しくされているか。

※当社では「Adobe Illustrator CS3」までの対応しております。

※必ず最終デザインの印刷見本(プリントアウトしたもの)をお送りください。また、天地方向がわかるように記入してください。

※モニタ上、プリンタ出力上で見える色味と実際の印刷では差があります。仕上がりの色は市販のカラーチャートを参考にしてください。

また、印刷をする環境や、紙質によって印刷見本(プリントアウトしたもの)とは異なりますのでご了承ください。

## よくある不備データ

### 1 フォントのアウトライン化がされていない。

フォントをアウトライン化しないで入稿されると、改行がずれたり、文字の詰めが狂ったり、当社にないフォントが印刷できないなどの出力トラブルの原因になります。アウトライン化したフォントを選択した状態で、メニューの「文字」→「アウトライン作成」を選択します。アウトライン化をすると、元のテキストには戻りません。必ず変換する前のデータはバックアップをとっておいてください。

### 2 着色の濃度がCMYKの合計300%以上である。

IllustratorやPhotoshopでは、CMYKの各数値は「0%~100%」まで設定できるようになっていますが、CMYKの合計が300%を超えると、裏うつりしたり、色ムラが起きたり、紙粉が付着したりと、きれいに印刷できなくなります。合計が300%を超えないように補正・変更してください。

### 3 画像の解像度が300~350dpi以下である。

通常の印刷には使用するサイズで350dpiくらいの解像度が必要です。これより低いとぼやけた感じになったり、ジャギーが目立ったりします。逆に解像度は高すぎても不要に画像のファイルサイズが大きくなり、出力に時間がかかるだけなので、適正な解像度で入稿してください。解像度の低い画像を数値だけ大きくしても、きれいな画像になるわけではありません。解像度を適正にするには、作成時から350dpiに設定しなければなりません。

※「デザインデータチェック内容解説」にて詳しくご説明させて頂いております。どうぞご確認ください。

## レーベル面に「MADE IN JAPAN」の表記がないか。

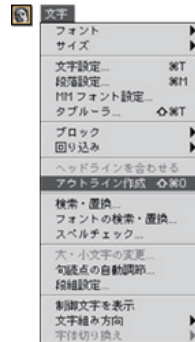
海外製造の場合、この表記があると通関に支障でますので、表記を取り除いてください。

## データが不足していないか。

必要なデータが入稿されていません。不足分データの再入稿をお願いします。

## フォントがアウトライン化されているか。

フォントをアウトライン化しないで入稿されますと、改行がずれたり、文字の詰めが狂ったり、当社にないフォントが印刷できないなどの出力トラブルの原因になります。アウトライン化したいフォントを選択した状態で、メニューの「文字」→「アウトライン作成」を選択します。アウトライン化をすると、元のテキストには戻りません。必ず変換する前のデータはバックアップをとっておいてください。



## 画像が埋め込まれていないか。

使用されている画像データにトラブルが生じた場合に埋め込まれたデータでは対応できません。「埋め込み」か「リンク」かを確認するにはリンクパレットのファイル名で判断します。ファイル名のみの場合リンク、右端にアイコンが表示されていれば埋め込みです。リンクパレット右上の矢印をクリックし、パレットメニューの中から「置き換え」を選択して、埋め込んだ元ファイルと置き換えてください。この際、必ず「リンク」をチェックしてください。



## 解像度が350dpi以下の為、粗く出力されないか。

解像度とは、ビットマップ画像のきめ細かさを表すもので、dpi (dots per inch、ディーピーアイ) という単位で、1インチにドットがいくつ入るかということを表しています。

通常の印刷には使用するサイズで 350dpi くらいの解像度が必要です。これより低いとぼやけた感じになったり、ジャギーが目立ったりします。逆に解像度は高くても不要に画像のファイルサイズが大きくなり、出力に時間がかかるだけなので、適正な解像度で入稿してください。

解像度の低い画像を数値だけ大きくしても、きれいな画像になるわけではありません。解像度を適正にするには、作成時から 350dpi に設定しなければなりません。写真やイラストなどスキャナで取り込むものは取り込む時に、デジタルカメラで撮影するものなら設定を一番サイズの大きなものにして撮影してください。新規で作成する場合は、「幅・高さ」を使用するサイズに、「解像度」を 350dpi/inch にしてください。ただし、モノクロ 2 階調の場合は 1200dpi の解像度が必要です。



## 解像度が高く、データが重すぎないか。

350dpi 以上あるデータは、データが大きくなるだけでクオリティはほとんど変わりません（モノクロ 2 階調の場合は 1200dpi が必要です）。大きすぎるデータは印刷に時間がかかってしまったり、当社でのチェックが困難になりますので、350dpi に変更してください。

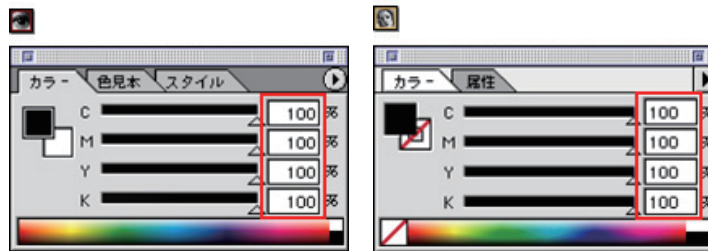
また、数値は「350」になっていても、単位が「pixel/inch」ではなく「pixel/cm」になっている場合があります。これもデータを大きくしてしまう原因ですので、「pixel/inch」に変更してください（350pixel/cm は 890pixel/inch に相当します）。



上の図の場合、「pixel/cm」だと71.6MB、「pixel/inch」なら11.1MBと、大ききかなりの違いがあります

## CMYK合計数値が濃度オーバーしていないか。

Illustrator や Photoshop では、CMYK の各数値は「0% ~ 100%」まで設定できるようになっていますが、CMYK の合計が 300% を超えると、裏うつりしたり、色ムラが起きたり、紙粉が付着したりと、きれいに印刷できなくなります。合計が 300% を超えないように補正・変更してください。



CMYK4つの合計が400%に近いほどきれいに印刷されません

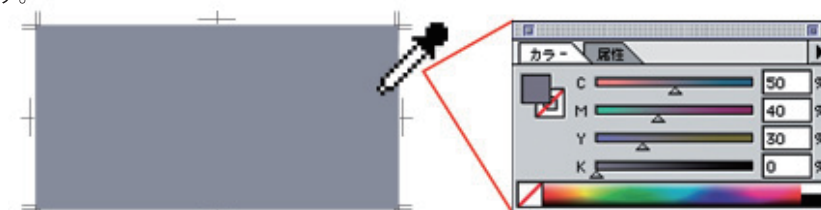
## discマークまたはJASRACマークが正しいか。

規格とは異なったロゴになっています。disc マークは、CD 製造・販売に関するライセンス契約によって義務づけられています。JASRAC は申請後に交付される許諾番号と許諾証紙を製造物に表示することが義務づけられています。



## 仕様と異なる色数で作成されていないか。

発注書の仕様と異なっている為、料金が変わる場合がございます。ご注文時の仕様どおりにデータを作成し直すか、追加料金をいただくことになります。

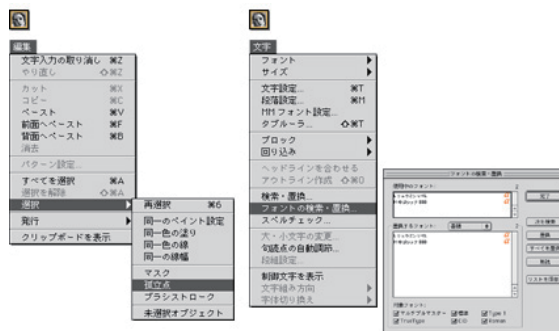


一見、グレースケール (K版1色) 作成されているようでも...

これだと3色の仕様になってしまいます

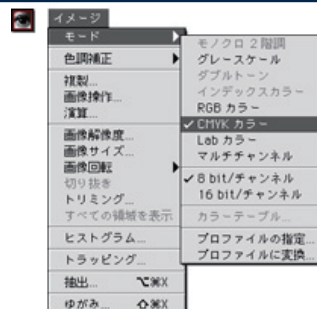
## 孤立点・空テキストが残っていないか。

孤立点・空テキストとは、 unnecessary 単独のアンカーポイントです。出力時にエラーの原因となりますので、入稿前に取り除く必要があります。孤立点は編集メニューの「選択」→「孤立点」を選ぶと選択されますので、すべて消去します。空テキストは、アウトライン化した後に、文字メニューの「フォントの検索・置換...」で表示されるフォントをクリックすると選択されます。これもすべて消去します。



## 画像モードがCMYK以外で作成されていないか。

オフセット印刷では「CMYK カラー」、「グレースケール」、「モノクロ 2 階調」で作成しなければなりません。それ以外のモードは印刷されません。メニューの「イメージ」→「モード」の中から、フルカラー印刷の場合は「CMYK カラー」、スミ 1 色の場合は「グレースケール」（もしくはモノクロ 2 階調）を選んで保存してください。この際、色味が変わってしまうことがありますので、必要に応じて補正してください。



### RGBとCMYK

RGB は光の三原色、R(レッド)・G(グリーン)・B(ブルー)で全ての色を表すもの、CMYK はプロセスインク 4 色、C (シアン)・M (マゼンダ)・Y (イエロー)・K (ブラック) で色を表したものです。RGB は全ての色が重なると白くなり、CMYK は逆に黒くなります。

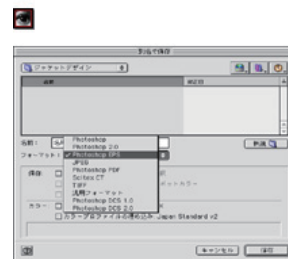
ただ CMYK は、その 3 色だけではきれいな黒にはならない為、K (スミ) を合わせて使用します。この 2 つは再現できる色の範囲が異なるために、RGB の色を印刷ですべて再現することは困難です。実際に、RGB 画像のどの部分が再現できないかは Photoshop のメニューから「ビュー」→「色域外警告」で確認できます。このグレーに表示される部分は、CMYK 変換時に印刷で再現できる近い色に置き換えられてしまいますので、色味が大きく変わってしまう場合があります。



## 画像データの保存形式がEPS形式もしくはTIFF形式か。

印刷物として適正なフォーマットは EPS と TIFF です。それ以外のフォーマットは使用できません。当社では原則として EPS 形式でご入稿いただいております。

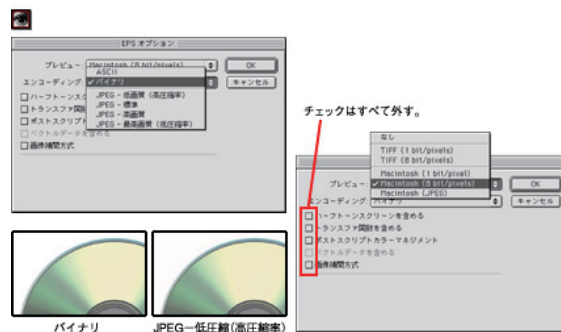
保存の際は「別名で保存...」を選択し、「フォーマット」を「Photoshop EPS」にして保存してください。レイヤーやアルファチャンネルが残っていると、EPS で保存できません。必ずレイヤーは統合し、アルファチャンネルを捨ててください。



## EPSオプションで、エンコーディングがバイナリか。

EPS 保存する際にエンコーディングを選べますが、かならず「バイナリ」を選択してください。JPEG エンコーディングはデータ容量を大幅に少なくすることが可能ですが、同時に画質劣化を起こします。出力機によっては対応できない場合がありますので使用しないでください。

プレビューとは、Illustrator に配置したときに表示される粗い画像のことです。EPS は PostScript というプリンタ用の言語で書かれている為、パソコンで処理して表示できません。その為に画面表示用のプレビューデータを含んでいます。



Macintosh をお使いの場合は「Macintosh (8bit/pixels)」、Windows をお使いの場合は「TIFF (8bit/pixels)」にしてください。チェックボックスのチェックはすべて外してください。

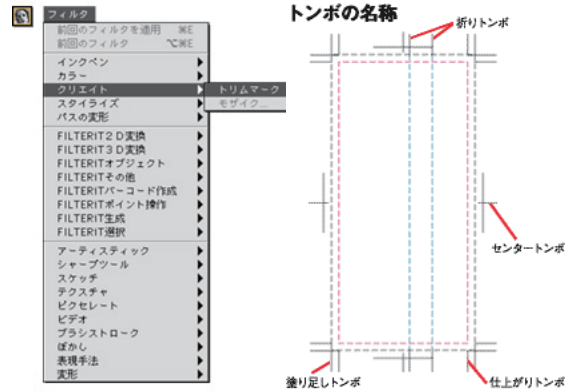
## サイズが正しいか。

当社規定の仕上がりサイズと異なります。当社のホームページからテンプレートをダウンロードしてお使いください。テンプレートには、印刷物それぞれに合わせたトンボがあらかじめ作成されています。→テンプレートダウンロードページ

## トンボ(トリムマーク)が正しいか。

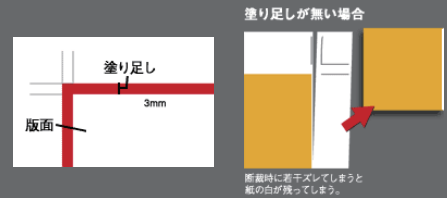
断裁や折り、また多色刷りの見当合わせとして付けるマークをトンボといいます。Illustratorでトンボを作成する方法は、メニューから「フィルタ」→「クリエイト」→「トリムマーク」で作成します。この時、折りトンボは作成されませんのでペンツールで書き足します。線の太さは0.3ptにしてください。フルカラー印刷の場合はトンボの色をCMYKすべて100%にしなければなりません。

「オブジェクト」→「トンボ」→「作成」は使用しないでください。当社テンプレートを使用することをおすすめします。



### 塗り足し(ドブ)

仕上がりトンボ(仕上がり断裁の野線を示すトンボ)から外トンボまでの切れて無くなる部分のことです。断裁時、若干の断裁ズレ等のぼらつきにより、白地がでないように外トンボまで写真や絵柄を続けておく必要があります。



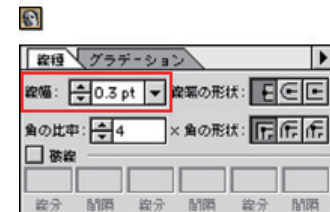
## グラデーション角度の数値が整数か。

グラデーションの角度は小数点以下が付かないようにしてください。きれいなグラデーションになりません。(例: 89.988度→90度)



## 印刷に出ない線の太さではないか。

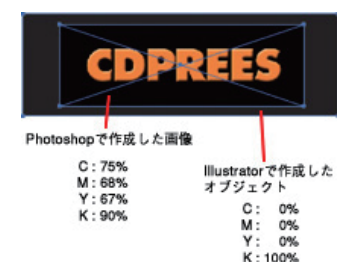
0.3ptより細かい線は、印刷に出ない場合があります。該当する線を選択し、0.3pt以上にしてください。



## 画像とイラストレーターの色に差が出ないか。

Illustratorのオブジェクトの上にPhotoshopで作成した画像を配置した場合に、同じ色のように印刷すると色の差が出てしまうことがあります。

モニター上では判別できない場合が多いので注意が必要です。Illustratorオブジェクトの色をPhotoshop画像の色に合わせて修正してください。



モニター上の見た目は同じ「黒」のように見えますが、印刷すると境界が見えます。

## スミ(K)版以外にオーバープリントの指定がないか

C・M・Yにオーバープリントの設定をすると、仕上がりのイメージが異なることがあります。K版以外のオブジェクトの「塗りにオーバープリント」チェックをすべて外してください。

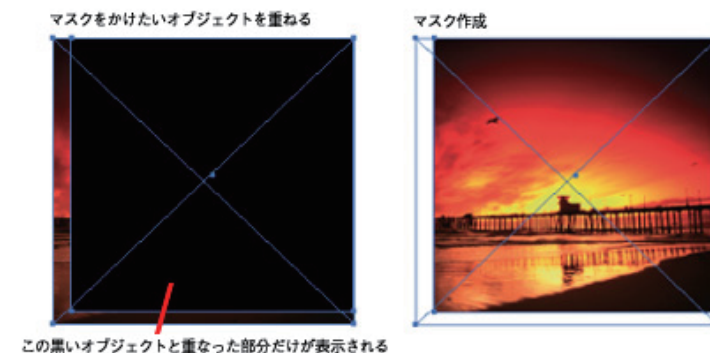
## スミ(K)版がオーバープリントになる為、境界が見えないか。

写真の上などに K100% のベタを重ねている場合、スミ版がオーバープリントになるので、下の写真と重なっている部分が濃くなって印刷されます。

K100% のベタと重ねずに写真にマスクをかけてください。

マスクの方法は、マスクにしたい大きさのオブジェクトを作成し、配置した写真データに重ねます。

写真とオブジェクトを選択した状態で、メニューから「オブジェクト」→「マスク」→「作成」で、重ねたオブジェクトの形にマスクされます。



## リッチブラック

より深みのある黒色を表現するために K100%（スミ 100%）だけではなく、他の色も混ぜて作成した黒色のことです。C40%・M40%・Y40%・K100% などの CMYK の総量が 300% 以内での色指定を当社では推奨しています。



版ズレすると目立ってしまう

ただし、リッチブラック部分は CMY 版も作成されているので、細かいものをリッチブラックにすると、少しの版ズレでもはみ出して目立ってしまいます。文字などの細かいものは K 版だけで作成したほうがきれいに仕上がります。